



ふたば保育園児のどっこいしょ節

あめっかぜ30周年記念音もだちコンサート

(10月30日 | 創遊館ホール)

特 長/朝日新聞「学術向上促進事業」
日政スポンサー/楽しい農村づくりP.1第1回ワークショップ開催
日経財政改革推進委員会 予算執行状況を公表 (ほか)
カウラさんぽ/ハロウィン・パーティー
まちの話 和合小学校創立130周年記念式典 和田文庫設置
第14回町芸術文化祭部 (ほか)

広報

あさひまち

2005年11月号
No. 588



西五百川小学校 6年生の公開研究発表会（10月14日）

宮宿小学校が国（文部科学省）からフロンティアスクールとして指定を受け、平成15年度から2年間、実践研究に取り組んできた『学力向上フロンティア事業』。「自分の思いを喜んで伝え合う子ども」を研究テーマに、子どもたちの学力向上に向けた特色ある取り組みが試行され、その結果、着実な成果を収めてきた実績があります。

この実績を踏まえ鈴木町長は、平成17年度の施政方針演説の中でも示したように、町づくりの重点化策の一つとして「次世代を担う人材の育成（＝小中学生の学力向上対策）」をあげており、町内全校による実践に向けて当初予算を確保。各校で『学力向上推進事業』を展開中です。

今回の特集では、朝日町版『学力向上推進事業』に取り組む、町内各校の具体的な内容について紹介します。

特集 ● 朝日町版「学力向上推進事業」

子どもたちが意欲的に学べる
特色ある学校づくり

伝え合う力を生かし学力向上をめざす
フロンティア事業の成果

宮宿小学校は、この研究の指定を受けるまで4年間、国語科を中心にした「伝え合う力」の研究に取り組んでいました。これは端的にいうと、言葉と心の両面から力をつけていこうという研究でした。

その結果、ただただ自分の言葉で相手をほめる子が増え、心と心のコミュニケーションが生まれてきました。クラスはどこもここにふんわりムード。友だちをけなす雰囲気は消え、ほめた子どももほめられた子どもとも満足気でした。「伝え合う力」を育てることは、まさ

に「人間関係力」を育てることだったのです。そんな時にこの研究（フロンティア事業）の指定を受けました。「学力＝知識の量」と捕えられがちですが、学力はもつとすそ野の広いものであり、友だちや周りの人と関わりながら一緒に高まっていくという、これまでの「伝え合う力」を核としていけば、学力が向上するのではないかと考えたのです。

(表) 学習への意識が高まったか？

(%)

アンケート項目 抜粋	年度	はい	どちらでも	いいえ
学校にくるのが楽しいですか。	H14	71	25	4
	H15	79	16	5
	H16	88	11	1
学校で勉強するのが楽しいですか。	H14	54	39	7
	H15	63	33	4
	H16	75	22	3
自分の勉強の態度はよいと思いますか。	H14	42	53	5
	H15	55	40	5
	H16	53	41	6
国語の勉強がわかりますか。	H14	74	22	4
	H15	71	27	2
	H16	79	20	1
算数の勉強がわかりますか。	H14	69	26	5
	H15	70	25	5
	H16	76	23	1
たくさん手を上げ、大きな声で発表していますか。	H14	45	40	15
	H15	55	34	11
	H16	57	33	10

(教研式全国標準診断的学力検査結果)

「宮宿小学校では、家庭・学校・地域の三者が手を取り合って「トライアングルパートナーシップ」を強化しました。家庭の方々も地域の方々も子どもたちのために献身的に協力をしてくださいました。宿題への「二筆運動」「パワーアップ作戦」「歩こう！ふしぎ発見隊」「お話会はんぷぎん」「田んぼや畑やりんごの先生」等々、数えたらきりがありません。学校でもどの授業も

「伝え合う力」を生かして意見や感想が行き交い、活気と温かさにあふれた内容になっていきました。その結果、左の表に示したように学習への意識も高まったほか、学力テストの偏差値も四年間で約5点もアップしたのです。このことは、伝え合う力が核となり家庭地域の協力も得て温かく開かれた人間関係が育てば、目に見える学力も必



4年生総合 ミニ水族館づくり インタビューしながら考えをまとめます

ひとみかがやく子どもを育成するために

西五百川小学校の実践

「今日も宮宿小学校には、子どもたちのいきいきとした言葉が教室いっぱい響いています。このような先進的な取り組みに併せて、町の研究委嘱校だった和合小学校と西五百川小学校の両校でも昨年度、公開研究発表会が開催されました。三校とも地域の実状に合わせて、それぞれ特色ある教

育を展開。確かな学力の定着と同時に、優れた研究の成果をあげることができました。これらの実績を踏まえ、今年度は町独自による新たな試み「学力向上推進事業」を立ち上げ、町内全小中学校で実践しています。学校間の連携と交流を深めることで、その研究内容は互いに公開し合い、成果を共有し合おうとしているところに特徴があります。

特色ある学力向上の大きな柱として西五百川小学校では、研究テーマを「ひとみかがやく子どもの育成」豊かに聞き、豊かに話す子をめざして「とし、あたたかい交流、そして、自分の言葉で話し合っ

- ① 本物との出会い、豊かな自然を生かし
 - ② 話し合いなど、様々な言語活動を組み入れた授業
 - ③ 友だちや地域との交流、関わりを組み入れた授業
- 去る十月十四日には、町内小中学校の先生方全員と村山管内から合わせて七十数名の先生方を招いて、公開研究発表会を開催しました。子どもたちが自分の言葉でいきいきと語り合い、学習している姿を見ていただきました。
- その後の研究会では、話し手の意見を聞き自分の意見を述べることの大切さや、りんごの学習や棚田の学習など地域を学ぶことの大切さについて話し合われました。講演会では、児童文学作家の石井睦美氏から子どもと読書について、夢が広がるお話を語っていただき、保護者の方々との世界を学びました。
- また、日常活動では、発表集会、全校一斉音読、読み聞かせ等にも力を入れています。さらに、職員研修では、山形大学と連携し、「子どもの学び」の研修を深め、学力向上に向けてがんばっています。

知的活動の基盤となる言葉の力の育成

宮宿小学校の実践

宮宿小学校は、今年度も「自分の思いを喜んで伝え合う子ども」をテーマにしています。これまでの取り組みの成果から、話し合うことに喜びを感じる子どもが育っています。互いの良さや考えを尊重し合うことが、自分の思いや考えを高めることとなり、学力向上の核となる「伝え合う力」が育ってきています。

楽しい学校生活の中で更に学力が高まるよう、「体験が楽しい・学びが楽しい・自立が楽しい」をキーワードにし、豊かな感性・情緒・知識・思考力・判断力・表現力・課題解決能力など、知的活動の基盤となる言葉の力の育成を今年度もめざしています。主な取り組みとしては、子どもたちの体験や伝え合う場を大切に教材の開発です。保護者や地域の協力のもと、ボランティア活動や社会体験、栽培活動や自然観察などの豊かな体験活動を重視し、総合的な学習・生活科・道徳・国語などを相互に関連づけながら、重点化した学習（合科・横断的学習）です。学習形態の工夫や基礎・基本の定着も大切に行っています。スピーチや話し合いなどの言語活動を充実させるとともに、少人数グループや複数の教師



6年生国語 学級討論会をしよう

による授業により、一人ひとりに応じたきめ細かな学習をめざしています。全校一斉に取り組み毎日十五分間のパワー

思いを自らの言葉で伝え合う力を育てる

和合小学校の実践

和合小学校は、平成十五年、十六年度、町教育委員会の委嘱を受けて「自らの思いを自らの言葉で伝え合う子どもの育成」というテーマで授業研究に取り組みました。本年もそれに続き、「伝え合う力」の育成を図る指導についての研究を行っています。読むことや書くことなども含めた総合的な国語の研究を行うことで、国語の基礎・基本の力がつき、他教科・他領域でも活用できる国語力が育ちつつあります。

タイムや、保護者からの一筆運動も基礎・基本の定着や集中力の育成に大きな力となっています。

和合小学校では、年間を見通しを持った計画的な学習とすること、付きたい力を明確にした指導をすることなどを重視して展開しています。

また、学力テストの結果を分析し、個人の傾向や全体の傾向を的確に把握。学級ごとにその対策を練り、重点的、計画的な指導を行うようにもしています。担任間で学力の実態や指導法などについて語

めざす子ども像を設定し教師自身も意識改革

大谷小学校の実践

大谷小学校では、「確かな学力をつけるための授業改善と指導力の向上」をテーマに、学力向上対策を考えています。重点として、次の五つに取

り組んでいます。①研修や現職教育の充実で学ぶ教師をめざす②学級経営や教材研究など日々の授業の充実をめぐる③指導と評価の一体化や分か



2年生国語 アナウンサーになったつもりで話す

母親としてサポートしたい子どもと先生の信頼関係



朝日中学校母親委員会
委員長 早坂文恵さん
(大谷五)

学校生活を、いかに楽しく過ごすか。勉強も楽しくやれて、その結果学力を向上することができれば、大変すばらしいことだと思います。そのためには、生徒一人ひとりが、授業の内容をしっかりと理解できるようになること。そこに必要なのが、生徒と先生の信頼関係です。信頼できる先生が話すことは、生徒たちも理解しようと努力するし、質問してもしっかりと答えてくれる先生には、益々質問するでしょう。そのような積み重ねが、学力向上に結びつくのだと思います。母親としては、自分の子どもと先生がうまく信頼関係を結べるように、これからも側面からサポートしていきたいと思っています。

町の将来を担う子どもたちが、後々楽しかったと思えるような学校生活を送れるよう、先生方よろしくをお願いします。



3年生国語 グループで考えをもちよって「カルタ作り」

具体的には、①朝読書の実施②算数の基礎・基本の確実な定着を図るチャレンジ学習③既習事項の定着をめざす全校テスト④学力テストの結果の分析と学校全体での弱点克服⑤家庭からの協力をもとに進めている家庭学習の充実などがあげられる。

「小津映画など名作といわれるものは、静かな雰囲気の中で作られる。CMにおいてもわかりだ。たぶん授業においてもそうなんだろうと思う」ある学習発表会に、映画監督の佐久間のぶ氏が参加されていて、そんな話をしていて、そんな話を出しています。

朝日中の一日は読書から始まります。十五分間しっとり

る授業の工夫で、学ぶ楽しさや主体的な学びを身につけさせる④基礎・基本の定着など学校全体で組織的に学力向上に努める⑤個に応じた指導や

家庭との連携で、自学自習の習慣を身につけさせる。すなわち、めざす子ども像を設定して、教師自身の意識改革や日々の研究、組織としての学力向上対策を図り、さらに家庭との連携をとりながら学力向上をめざしています。

ます。また、校内研究では「伝えよう思いを 受けとめよう心で」をテーマに、国語力を身につけ、楽しくコミュニケーションする子どもをめざして、外部講師を招いて授

業研究を積極的に実施しています。今後もこれらの実践を中心に、常に課題を明確にし、一人ひとりの力を精一杯引き出せるよう、全職員で取り組んでいきます。

しっとりとした環境の中で確かな学びを

朝日中学校の実践

とした中で個々の世界が広げられ、一校時目にスーッと移行していきます。

授業は、生徒一人ひとりへ「確かな学力」、そして「人への心遣い」を課題追究の中に織り交ぜながら、教師と生徒が共に関わり合うこと、支え合ことを意識しながら展開しています。

また、学習集団に勢いが出てくれば、「学ぶ力」がより広くより深くなっていくのではと、小集団による学びを生かしながら、授業展開を工夫。生徒たちがうまく自己表現させながら、わかったという喜びが生まれる授業をめざしています。



3年生理科 自作教具を使って金星の見方を学ぶ

特に英語と数学については、一年生は二十五人程度の少人数級。二、三年生は一学級を二つに分けた少人数指導により、個々人が活躍できる場面を多く作りながら、基本的な学力の定着を図っています。

一日の終わりは「チャレンジタイム」を設定。毎日二十分間、読み書き計算等のドリル、反復学習が主です。静かな中で根気よく、集中して取り組む姿勢を身につけさせるのがねらいで、今年度から全学年で実施しています。

美しい農村づくりプロジェクト 第1回ワークショップ開催 三中・宮宿・和合の3カ所で 新たな協働の町づくり始まる

「豊龍の丘整備」「能中棚田の保全」と言えば、町民と行政の協働による町づくりの実践として進められてきた、いわゆる町民参加型の町づくり。今年は新たに3地区が名乗りを上げ、事業が展開されることになりました。

三中地区では10月16日に八ツ沼公民館、宮宿地区では10月30日に宮宿公民館、和合地区では10月30日に和合公民館で、それぞれ最初となるワークショップが開催されました。実際に地域内を歩き、改めて見つめ直してみることで、良い所や良くない所など新たな発見や感じたことをまとめ、班ごとに発表し合うのが今回の目的。高齢の方から小学生まで幅広い年齢層の区民たち、三中地区では100人、宮宿地区では70人、和合地区では130人が参加しました。

各地区とも、これから何が始まるのか手探りの状態から始まった今回のワークショップ。時間が経過するに連れて理解していったようで、「いつも見慣れているはずなのに、これまで気付かなかっ



【和合地区】

意外な発見があったのでは…



【三中地区】

図面にまとめたことを発表し合った



【宮宿地区】

実際に見てきたことを図面に記入

た」「こんなふうになったらいいのにな」など、時には笑いを誘う発表内容が各会場を沸かせていました。

今回の結果を踏まえ、各班の内容を1つにまとめる次回のワークショップは、三中地区が12月18日、宮宿地区は12月4日、和合地区は12月25日にそれぞれ開催される予定です。



町行財政改革推進審議会 (11月1日/役場会議室)

限られた財源の中で、より効率的でかつ効果のある行財政の運営が求められていることから、町では行財政改革を推進していくことが急務となっています。第3次町行財政改革大綱に基づいて、役場内に3つの専門部会（歳入対策実施部会・人件費対策実施部会・民間委託等推進実施部会）を設置し、実施に向けた計画等についてそれぞれ検討をしています。その内容を行政内部だけでなく、

町民のみなさんから審議していただくため、町行財政改革推進審議会が11月1日、役場で開催されました。

会議では、これまで実施してきた改革あるいは試行中である改革の内容、また、今後推進して行かなければならない改革の内容が報告され、委員の間からは「人件費の削減は理解できるが、職員の新規採用がないと今後空洞化が懸念されるのでは」などの指摘がなされました。また、「今後の国の動向次第で、市町村合併をも視野に入れて検討していく必要があるのでは」という指摘に、鈴木町長は「自立の町づくりをめざすための行財政改革としてご検討をお願いしたい」と語りました。

今後更に、細部に渡る改革の原案が検討され、来年の2月を目途に実施計画を策定。第2回審議会の中で再度審議が行われます。

なお、7人の委員のみなさんは次の方々です。
多田賢司(西町=会長) 成原明(新宿=職務代理者) 鈴木利和(大船木) 柴田泰子(四ノ沢) 白田和好(大谷一) 長沼隆(殖産銀行支店長) 小林秀子(西町) 【敬称略】

芸術の秋に思う

芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、そして実りの秋。冬を前にした私たちは、様々な想いで、秋の一日を過ごしています。

平年より22日(昨年より13日)遅い11月10日、朝日の山も初冠雪を記録。冬への備えは大丈夫か。この季節、「アリとキリギリス」のイソツ

ブ童話が思い出されます。

まじめで勤勉な町民性。忍耐強くこつこつと、雪道を切り開いて来た先人の足跡。私たちはこうして先人の築いてきた故郷という土台の上に今暮らしているのです。

過日、山形市の文翔館において、県における最高の文化勲章「齋藤茂吉文化賞」の贈呈式が執り行われました。その会場に栄えある受賞者の

一人として、我が町の阿部宗一郎氏が列席されております。阿部氏はこの町に、文化の大きな礎を築いて下さいました。

町には様々な立場・分野で立派な業績を挙げられた数多くの先人がおります。そしてまた、今回の阿部氏の功績を思う時、改めて幾多の先人の礎の上に、今私たちが暮らしているのだと実感させられます。

時代の流れの中、時々刻々私たちの町も、少しずつ、そして確実にその姿を変えていきます。しかし、この先人たちが築いてくれたこの町を、この故郷を、私たちが守り、子、孫へと受け継いでいかなければなりません。



朝日町長 鈴木浩彦



阿部宗一郎さん(常盤)
町民栄誉賞に決定
歴代3人目 文化分野では初

地域の文化振興に多大なる貢献があったとして、このたび齋藤茂吉文化賞を受賞した阿部宗一郎さん(常盤)に、町民栄誉賞が贈られることになりました。10月20日、役場で開催された審査会(委員長=多田賢司町区長会長)で、満場一致により決定したものです。

町民栄誉賞は、これまで近藤洋子さん(全日本女子剣道選手権大会優勝=栄町出身)と鈴木正典さん(ヒマラヤ未踏峰ピラミッドピーク初登頂=栄町出身)のお二人が受賞しており歴代3人目。文化部門では初の受賞となります。

10月24日には、齋藤茂吉文化賞受賞を祝う会の実行委員会(委員長=鈴木町長)が開催され、祝賀会が11月23日に農協団地センターホールで執り行われることも決定しました。その席上、阿部さんに栄えある町民栄誉賞が授与されます。

リングオプロジェクト
現在進行形 平成のRINGO PJ (vol.1)

- ◎起業支援説明会に33人が参加(10月17日)
- ◎旧送橋小学校を利用した町産業創造センターが開所(11月1日)
- ◎起業をめざす41人が集結! PJがいよいよ動き出す(11月1日)

澄み切った秋晴れの下、旧送橋小学校に「町産業創造センター」がオープン。それぞれの想いや夢を心に抱き、今回のPJに参加した起業家の卵たちは総勢41人。いよいよ「平成のRINGOプロジェクト」のスタートです。



代表し松本さん(右)に受講証が手渡された

センターの開所を祝いテープカットが行われた後、さっそく研修生たちは施設内へと足を踏み入れ開講式に臨みました。開講式では、研修生一人ひとりの名前が読み上げられ、町産業創造協議会長の鈴木町長から研修生を代表し松本智美さん(常盤)に受講証が交付されました。「今後におけるみなさんの活躍に町の将来がかかっているととっても過言ではない。やる気と挑戦をもって経営や技術の習得にあたってもらいたい」と、鈴木会長は研修生たちを激励しました。これを受けて、鈴木敏夫さん(大隅)が、「自分の生活が向上できて、なおかつ、町の発展に貢献できるように努力していきたい」と抱負を語りました。



町産業創造センターの開所を祝うテープカット

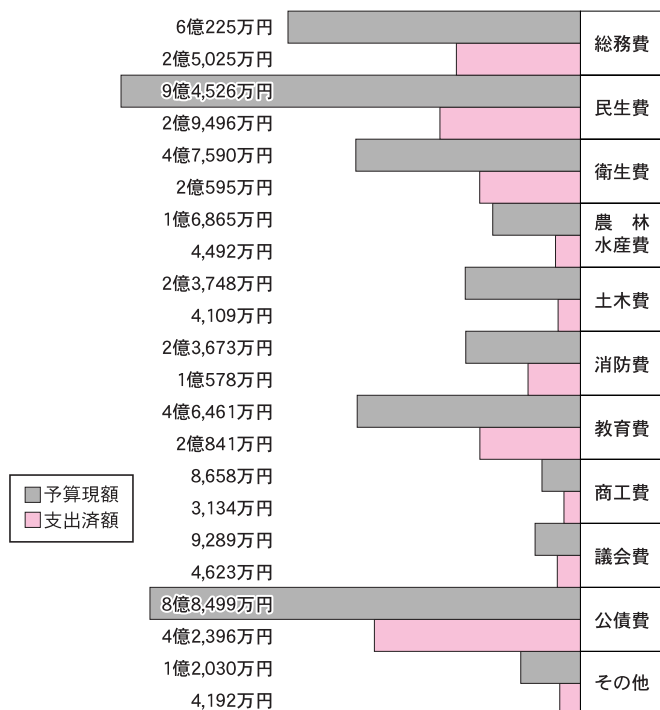
創意と工夫で実現 希望と誇りを持てる町づくり

平成17年度上半期の予算執行状況を公表します

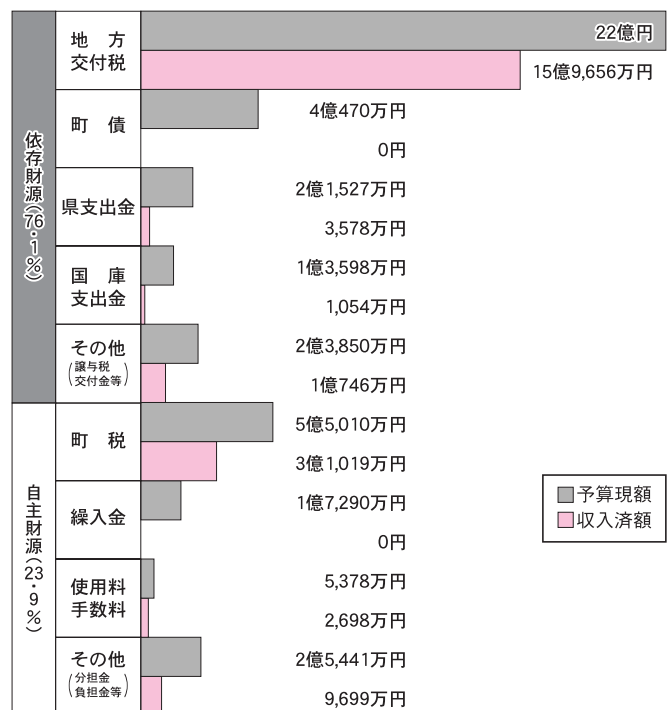
町民のみなさんに町の財政状況を理解していただくとともに、町政に対する関心を一層深めていただくため、平成17年度上半期（4月1日から9月30日まで）の予算執行状況を公表します。

限られた財源の中で、今後も経常経費（＝毎年必要とされる義務的性格を持つ経費）の削減を行うとともに、有利な補助制度などを利用しながら、希望と誇りを持てる町づくりを実現していきます。

■一般会計予算歳出執行状況



■一般会計予算歳入執行状況



乳児医療給付事業

7月より、6歳児までの医療費を完全無料化するなど、家計の経済的負担を軽減。

9月末現在の支出額

438万4,484円



合併処理浄化槽へ補助

快適な生活環境づくりを進めるため、合併処理浄化槽の設置を推進。9月末日まで33基(補助金支払済13基)が設置された。

補助金総額 706万円



中学校整備事業

老朽化のため照度が落ち障害をきたしていた、中学校体育館の照明器具の整備を実施した。

事業費総額 1,992万9,000円

■主な使いみち

広報あさひまち 11月号

町の台所事情 (平成16年度決算より)

□町有財産の状況

		15年度末現在高	16年度中増減高	16年度末現在高
不動産	土地	2,642,589㎡	3,956㎡	2,646,545㎡
	うち山林	1,425,665㎡	4,867㎡	1,430,532㎡
	建物	65,084㎡	2,174㎡	67,258㎡
動産	温泉権	1,850万円	-	1,850万円
	有価証券	7,172万円	-	7,172万円
	出資金	5,470万円	-	5,470万円
	預託金	-	-	-
	出捐金	3,687万円	14万円	3,701万円

□地方債(町の借入金)の状況

	15年度末現在高 a	16年度中発行額 b	16年度中償還元金 c	16年度末現在高 (a+b-c)
一般会計	66億6,657万円	5億4,580万円	9億8,237万円	62億3,000万円
集落排水事業	2,285万円	2,020万円	80万円	4,225万円
病院事業	8億5,872万円	1,430万円	3,649万円	8億3,653万円
水道事業	3億8,114万円	-	1,634万円	3億6,480万円

□主な財政指標

区分	朝日町 平成16年度	朝日町 平成15年度	県内市町村 平成15年度	全国類似団体 平成15年度
経常収支比率	96.8	95.9	88.4	85.8
公債費負担比率	26.7	30.2	20.5	18.2
公債費比率	18.4	19.4	17.3	16.5
起債制限比率	12.4	12.4	11.6	8.9
財政力指数	0.21	0.21	0.32	0.28

※平成16年度については未確定

□基金の状況(単位:万円)

		15年度末現在高	16年度中増減高	16年度末現在高
土地開発基金		8,200	-	8,200
	土地	0	3,868	3,868
	現金	8,200	▲ 3,868	4,332
	奨学資金貸付基金	99	▲ 99	-
	現金	77	▲ 77	-
	貸付金	22	▲ 22	-
種畜貸付基金		576	-	576
	現金	576	-	576
	貸付金	-	-	-
	財政調整基金	41,849	14,610	56,459
スポーツ振興基金	3,250	▲ 140	3,110	
減債基金	16,410	▲ 14,545	1,865	
地域振興基金	27	▲ 27	-	
ふれあい福祉基金	5,620	2	5,622	
庁舎建設維持管理基金	1,207	0	1,207	
町営住宅建設維持管理基金	1,168	2	1,170	
志藤六郎村おこし基金	9,740	▲ 1,147	8,593	
アイジー基金	3,000	-	3,000	
環境保全基金	1,000	-	1,000	
中山間地域活性化推進基金	579	▲ 579	-	
生涯学習振興基金	1,200	▲ 100	1,100	
合計	94,168	▲ 2,266	91,902	

用語の解説

経常収支比率

支出のうち人件費、扶助費、公債費など毎年必ず支払う義務的性格の経常経費に、毎年常に入ってくる町税、地方交付税、地方譲与税を中心とする経常一般財源の収入がどの程度充当されているかの割合。

町村では70%程度が妥当と考えられています。

公債費負担比率

公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合。この割合が高いほど、財政運営がきびしい状況にあることを示します。

公債費比率

標準財政規模(町税、地方交付税、地方譲与税などの経常一般財源の収入額)に対する公債費に充当した一般財源に占める割合。

起債制限比率

公債費比率の算出の際に使用された標準財政規模と公債費充当一般財源から、普通交付税に算入された地方(町)債の元利償還分を控除して算出した割合。この比率が3年平均20%を超えると、地方債の発行(町がする借入)が制限されます。

■会計別予算および収支状況(単位:万円)

	予算額				収支額			
	当初予算額	補正予算額	繰越事業	予算現額	収入済額	対予算比(%)	支出済額	対予算比(%)
一般会計	410,600	16,310	4,654	431,564	218,450	50.6	169,481	39.3
特別会計	289,530	5,219	-	294,749	117,987	40.0	116,802	39.6
集落排水事業	1,930	-	-	1,930	626	32.4	338	17.5
国民健康保険	89,550	-	-	89,550	33,637	37.6	35,892	40.1
老人保健	128,300	1,819	-	130,119	49,787	38.3	52,604	40.4
介護保険	69,750	3,400	-	73,150	33,937	46.4	27,968	38.2
企業会計	102,650	-	-	102,650	44,817	43.7	39,559	38.5
病院事業	84,950	-	-	84,950	34,484	40.6	34,331	40.4
水道事業	17,700	-	-	17,700	10,333	58.4	5,228	29.5
合計	802,780	21,529	4,654	828,963	381,254	46.0	325,842	39.3

※病院・水道事業会計は、収益的収支。



ハロウィンとは、キリスト教の聖人を祝う万聖節の前夜祭のこと。アメリカでは各地で大々的にパレードやパーティーが開かれます。

朝日ロータリークラブ（多田清一会長）などからの協力を得て、ここ朝日町でも、町内では初めての開催となるハロウィン・パーティーが11月5日、開発センターホールで行われました。主催したのは、田舎でふるさと交流会（鈴木高光代表）と、町のALIT（外国語指導助手）であり広報あさひまち「英語にチャレンジ」でおなじみの、トリニティー先生ご夫妻。思い思いの衣装を身にまとった幼児から大人まで約100人が参加しました。

参加者たちは、会場いっぱいには設けられた色々なゲームやお菓子などを味わいながら、本場アメリカの祭りと文化を、心ゆくまで楽しんでいました。



パーティー



かぼちゃをくり抜いて中にキャンドルを灯せばジャック・オー・ランタン（かぼちゃ提灯）のできあがり



アメリカでは仮装した子どもたちが「Trick or treat? (お菓子をくれないといたずらするよ)」と言って近所の家々をまわるそうだ



ハロウィン・ノ



トリニティー先生(右)にお菓子をねだる子どもたち





関東大震災を再現！起震車による地震体験
(10月19日／役場前駐車場)

まちの話題



大谷にバナナの木？
所有者の白田千代志さん
(10月17日／白田さん宅前)

①和合小学校創立130周年記念式典(11月2日／同校体育館)



伝統を引き継ぐ新たな決意

明治8年10月1日、宗覚院を借り受けた仮校舎として「和合学校」が誕生してから、今年でちょうど130周年という節目の年を迎えました。歴代の校長やPTA会長などを始めとする多くの来賓が招待され11月2日、和合小学校（大泉静夫校長）

で記念式典が行われました。

式典の中で大泉校長は、「敷地内にある古い桜の木に小さな若葉を見つけた。桜の木はこれまで長い歴史と伝統を積み重ねてきた和合小学校。そして若葉は、その栄養をいっぱい吸い取って成長するみなさんのような気がした。これからも、この和合小学校で学べることを誇りとして、みなさんできちんと歴史を刻んでいってほしい」と式辞を述べました。

その後、全校児童による「ぼくたちのおじいさん、おばあさん、お父さん、お母さんも学んだ和合小学校。これからも力を合わせ助け合い、より良い学校にしていくため頑張る」という誓いを込めたお祝いの言葉と、曲「子どものせかい」を式典版にアレンジした歌が披露されると、会場となった体育館には大きな拍手が鳴り響きました。

③りんごの樹オーナー収穫祈願祭 (10月23日／秋葉山交遊館)

りんご皮むき競争などを楽しむ

平成9年に始まったりんごの樹オーナー制度も今年で9回目。その収穫祈願祭が10月23日、秋葉山交遊館で開催されました。今年のオーナー登録者は54人。その内25人のオーナーとその家族、合わせて約90人が参加しました。

あいにくの雨模様となったものの、午前中に収穫直前の「玉回し作業」を各園地で実施。その後は、地元産ワインやりんごジュース、バーベキュー、収穫を祈願する杵つき餅などを心ゆくまで味わったほか、りんご皮むき競争などのイベントに終始笑い声の絶えない参加者たちでした。



②和田文庫設置(10月29日／大谷小学校)



読み聞かせ絵本など815冊

かしこく元気よく心やさしい子どもたちに育て欲しいと、母校の大谷小学校（石川トキエ校長）に100万円を寄付してくださった真中出身の和田きゑさん（山形市在住）。学校では、普段購入できないような1冊1万円相当の特大サイズの読み聞かせ絵本などを始め、選りすぐりの本815冊を購入。図書室には「和田文庫」が設置され、10月29日の同校の文化祭の中で紹介されました。



今平公民館で自虎隊を演じる柳香会(日本舞踊)の子どもたち



あさひ芸術文化奨励賞を受賞した成原千枝さん(右)



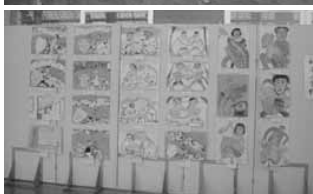
半世紀に向けて新たな一歩

「わきあがる心のいずみ 感動のとき」をテーマに、今年で41回目を迎える芸術文化祭が、11月3日から2日間の日程で開催されました。昨年40回という節目を迎えた歴史と伝統のある本文化祭。今年の文化祭は、半世紀に向けた新たな10年の第一歩となります。

今年度、町芸術文化協議会(安藤直良会長)に加盟している団体等は、36団体4個人で会員総数は459人。この一年間、それぞれの芸術活動に磨きをかけてきたその成果を、みなさんに披露する場であり、様々な部門で発表がなされました。

身近な所で芸術の秋を感じてもらおうと、毎年行っている移動芸術発表会の会場は、新築されたばかりの今平公民館。区民ら約50人が訪れ、日本舞踊や民謡、詩吟などの発表に盛んな拍手を送っていました。

また、式典の中では、芸術文化関係で特に功績のあった成原千枝さん(前田沢/書道)に、あさひ芸術文化奨励賞が贈られました。



⑤朝日中学校文化祭 合唱コンクール(10月29日/創遊館)

クラス一丸となったハーモニー

「朝日流～創ろう僕等だけのものを～」をテーマに朝日中学校の文化祭が10月29日、同中学校と創遊館を会場に開催されました。その中でもメインイベントと言えるのが、創遊館ホールで一般公開された合唱コンクールです。わが子のクラスを応援しようという保護者も多く訪れ、会場は超満員となりました。

クラス対抗とあって、各クラスとも毎年力が入るこの行事。他のクラスには負けられないと、これまで各クラスが一丸となって取り組んできたこと。今回が最後となる3年生たちにとっては、終始気が抜けないとあって、休憩時間にもギリギリまで外で練習する光景も見られました。



村松校長は、「来年創立30周年を迎える朝日中。今回もそれにつながるような、歴史に残る合唱を聞かせてくれたみなさんに感謝します」と講評を述べました。

⑦産直売場 町内2カ所にオープン

(11月5日/宮宿・和合)



生産者明記は安心安全の証

国道沿いにあり、これまで長い間空き店舗だった建物を利用した産直市場が、11月5日オープンしました。午前9時の開店を前に、行列ができるほどの盛況ぶり。町内の農産物生産者15人のほか、近隣市町からの出品もあり店内は大賑わい。商品には全て生産者の氏名が明記され、消費者が求める安心安全の証として、評判も上々のようでした。

4日には和合にも同様の産直市場「ぬくもり工房3 芭家」がオープン。通りかかった観光客らが、お目当てのりんごなどを買い求めていました。

⑧カーブミラー進呈(10月28日/役場)

交通上危険箇所に設置

さがえ西村山農業協同組合(今田正夫代表理事組合長)から10月28日、今年も町へカーブミラー4基をいただきました。

関係機関と協議しながら、今後、道路交通上危険な箇所に設置していく予定です。



⑥エコミュージアム・ワークショップ

(11月6日/新宿地内)



とやがもりじょう 鳥屋ヶ森城の城下「新宿」を巡る

“紅葉の城下町「新宿」を訪ねる”というテーマのワークショップが11月6日、同地区内で開催されました。町エコミュージアム案内人の会(堀敬太郎会長)が主催し、毎年数回開催している行事で、今回は区民ら約20人が参加しました。

鳥屋ヶ森城の城下「新宿」には、薬師堂を始め東永寺や多くの石仏、そして古いポンプ庫や郷蔵などが存在し、深い歴史と文化を肌で感じることができます。この地の歴史に詳しい熊谷與志雄さん(新宿)を講師に、参加者たちは約3時間かけて巡り歩きました。

昔の面影を今に残す今井治郎三郎氏の門や石垣、旧高田の養蚕住宅などを見学しては、「こんな近くに、こんなにすばらしいところがあったのか」と改めて感じ取っていた参加者たちでした。

⑩あとリエマサト グラウンドまつり (10月23日／旧立木小学校)

遊具のタイヤを化粧しちゃえ!

グラウンドに半分だけ埋設されているタイヤを、カラフルな色に塗ってしまおうというイベント、「グラウンドまつり」が10月23日、旧立木小学校で開催されました。日本画の制作に取り組んでいる「あとリエマサト」の二人が、区民らに参加を呼びかけて企画。約25人が参加しました。

筆で繊細に塗り上げていく人。大胆に素手で描く人と様々。紅葉して間もない光景に、ひときわ目立った色が浮かび上がりました。



⑨りんご進呈(10月20日／町内小学校)

地元の生産者組合が学校を訪問

町果樹組合連絡会議(井澤壽一会長)が10月20日、中生種(10月5日～20日頃出荷)の主流品種として、町の生産者たちが5年前から一丸となって生産している「シナノスイート」を、町内の全小学校に贈りました。

大谷小学校(石川トキエ校長)を訪れた井澤会長は、「農家の人が丹誠込めて作ったりんごを食べてください」と語り、児童を代表し給食委員長の遠藤和樹くん(栗木沢)と同副委員長の白田智七美さん(大谷一)に、大玉のりんごを手渡しました。遠藤くんと白田さんは「美味しくいただきます」とお礼を述べました。



⑫交歓交流プチ駅伝 (11月3日／弓張平植物園)



紅葉真っ盛りの中を駆け抜ける

町ジュニアマラソンクラブと西川ジュニアランナーズとの交歓交流会が11月3日、西川町の弓張平植物園で開催されました。互いに交流を深め合い、走ることの楽しみを再確認するのが目的で、今回が5回目となります。

両町からちびっ子ランナー約20人が参加し、タスキをつなぐ駅伝競技に汗を流しました。

⑪寺子屋事業(11月5日／八ツ沼地内)

八ツ沼の七不思議を巡る

今年第3弾となる寺子屋事業が11月5日、八ツ沼地区を会場に開催されました。今回は、この地に縁があり、昔から語り継がれている「八ツ沼の七不思議」をめぐる内容で、町内の小学生7人が参加しました。

町の文化財保護委員で若宮寺副住職の登坂高典さん(八ツ沼)による案内で若宮寺前を出発。①自在坊の活地藏②小関壇の異変③大石の化け石④大石の提灯石⑤鈴ヶ森の鶏の声⑥沼中の変水⑦沼尻の阿吽の清水。これらの七不思議の全てを、半日掛けて巡りました。



第18回新宿区文化祭(10月30日／同区公民館)

新宿区(熊谷長一区长)の文化祭が10月30日、同公民館で開催されました。当公民館の設立10周年を記念し、同区の小中学生の作品を展示したのが始まりというこの文化祭。

婦人会若妻会を始め総勢58人の区民が、パッチワークや珍しい多肉植物の鉢植えなど、合わせて約160点の作品を出品。所せましと展示された会場には多くの区民たちが訪れ、文化の秋を満喫していました。

みんな の ひろば



全国美容選手権大会(ネイル部門)で入賞



渡邊 久美 さん
(21歳/緑 町)

今年10月に京都で行われた全日本美容選手権大会の「ネイル部門」で、見事入賞を果たした久美さんは、中学の頃から花嫁さんのヘアメイクや着付けなどを行うブライダル美容に興味を持ち、今年の春に訓練校を卒業。美容師としてのスタートをきったばかりです。念願が叶って、現在はブライダルに力を入れている山形市内の美容室で働いています。ネイル部門では、60分という決められた時間の中で指先や爪の手入れ・甘皮の処理をし、真っ赤なマニキュアを塗って仕上げ、どれだけ手や指先を美しく見せることができるか、マニキュアをムラなくツヤ良く塗ることができるか審査されます。

真っ赤なマニキュアはムラが分かりやすく、綺麗に塗るのが難しい色だそうです。それだけに高度な技術が要求されるため、仕事が終わってから夜遅くまで練習を重ねる毎日。パートナーとなる手のモデルも自分で探さなければいけません。モデルさんとの練習の他

今輝いて

に、割り箸に付け爪を付けてマニキュアを塗る練習。準備した大量の付け爪が、あっという間に無くなっってしまったそうです。

「全国大会ではとても緊張しましたが、今の自分の力を十分に出せたとおもいます。上位入賞者の技術はさすがに素晴らしいかつたし、大会を終えるまでは大変だったけれど、技術的にも向上できましたし、何より自分の自信につながりました。ブライダルシーズンで忙しい時などは、グチもこぼれてしまいます。でもやっぱりこの仕事が好き！もつといるんな技術を身に付け、ネイルは勿論、着付け部門や、ヘアメイクからドレスまで全部自分でコーディネートする洋装ブライダル部門にも挑戦したい！これから覚えなくてはいけないことがたくさんあります」と意欲を見せる。

今回の入賞に、職場の皆さんもとても喜んでくれたとのことですが、本人にとっではひとつの通過点のようです。

久美さんのコーディネートした花嫁さんが、幸せ一杯で結婚式を迎える日もそう遠くないようです。



各種大会の成績

(○内数字は順位)

■中学新人総体県南ブロック大会 (10月15日)

▽バスケットボール ①朝日中女子

▽剣道 男子個人②堀集聡(中沢)

▽柔道 女子個人③和田麻里奈(小原)

■第40回西村山地区秋季ロードレース大会

(10月16日) 寒河江市民体育館前

▽中学女子個人の部②近藤香澄(采町) 10分51秒【大会新】④川口愛祐美(天暮山) 11分8秒

▽同団体の部②朝日中(近藤香澄・川口愛祐美・児珠葵) 34分17秒

■第60回国民体育大会秋季大会 (10月22〜27日) 岡山県

▽自転車競技 青年男子ケイリン

⑤菅井寛之(法政大学3年) 小原

■第52回西村山地区駅伝競走大会 (10月23日) 西村山管内一円

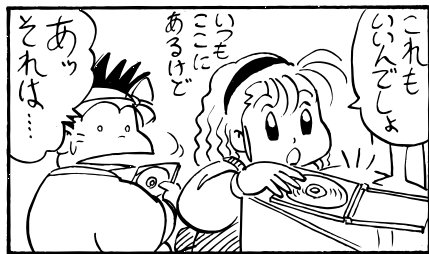
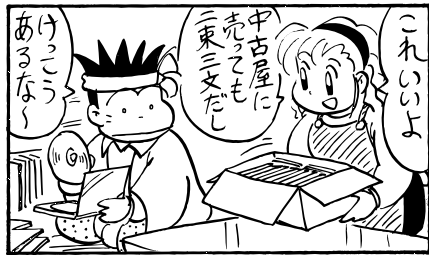
①西川A 3時間27分19秒②朝日(志藤陽平・岡崎能行・長岡輝喜・白石雄一・鈴木智彦・海野裕明・志藤雄人) 3時間30分17秒③寒河江A

■第34回町民ハレーボール大会 (11月6日) 町民体育館

▽男子の部 ①フライング(鈴木直幸監督) ②TIME19(阿部真樹監督) ③大五郎(伊藤進一監督)

▽女子の部 ①フライング(伊藤弘美監督) ②朝日ジュニアクラブA(川口幸男監督) ③アップルリング(菅井静代監督)





村山学
新婚さん

真中 / 小嶋
真季 絃太
さん さん

今年、成人式を迎えたばかりの、フレッシュなお二人を紹介します。「両親が会社勤めだったんで、帰宅の遅い日などはよく夕食を作って待っていました」と、当時のことを振り返る真季さん。そんな家庭の団らんの場に、いつしか絃太さんの姿もとけ込んでしまっていたとか。「その時食べた『ビーフシチュー』の味が今でも忘れられない。おいしかった〜」と話す絃太さん。真季さんにとっては、その時、知らず知らずのうちに身に付いた料理の腕前が、新婚生活の中でも発揮されているようです。

新婚とは言え、三交代の不規則な勤務形態に疲れ果てることも多いという絃太さん。そんな彼を帰宅すると迎えてくれるのが、テーブルの上に並んだ真季さんの手料理とホッとさせる笑顔。絃太さんを最高の癒しの空間に誘う瞬間です。そんな家庭的な真季さんの魅力に惹かれたという絃太さん。「いつもありがとう。生まれてくる子の分まで頑張るよ」という言葉に、にっこりと微笑む真季さん。絃太さんの体を気づかい、真季さんは今日も愛情いっぱいのみそ汁を作っています。

今月の新刊

おすすめ本!

やまがた村山学



やまがた村山学 創刊号

東北芸術工科大学東北文化研究センター編集
創刊号は、朝日町特集号となつてしまった。「海野秋芳シンポジウム」の記録や町内各所の写真をはじめ、菅井正人氏、安藤竜二氏、姉崎一馬・恵美氏による、この地で心豊かに生きることをめざす人たちの活動の記録などが織り込まれている。

信長の棺

加藤 広 著

「本能寺の変」の後、織田信長の遺骸は忽然とこの世から消えた。唯一の伝記「信長公記」の作者太田牛一の視点から描く、まったく新しい謎を展開。今まで見たことのない信長がいる!

生きて死ぬ智慧

柳沢 桂子 著

生命科学者が「般若心経」を美しく明晰な現代語訳で「心訳」。生命の根源に宿る美を崇高に描く日本画の巨匠との感動のコラボレーションで「いのちの意味」を伝える。リービ英雄による「般若心経」の英訳も収録。

- ▼愛し続けるのは無理である (内館牧子) ▼アカシア (辻 仁成) ▼天使の卵 (村山由佳) ▼ツキコの月 (伊集院 静) ▼にぎやかな天地上下 (宮本 輝) ▼四つの嘘 (大石 静) ▼お狂言師歌うきよ暦 (杉本章子) ▼アンボス・ムンドス (桐野夏生) ▼里と森の危機—暮らし多様化への提言— (佐藤洋一郎) ▼告白 (チャールズ・R. ジェンキンス) ▼日本領サイパン島の一万日 (野村 進) ▼ご飯の底力—賢く作ると、なるほどおいしい!— [和製でつくる私の小さな箱] (弓岡勝美) ▼一葉のきもの (近藤富枝) ▼祝福 (玄侑宗久) ▼箆笥のなか (長野まゆみ) ▼カオス (梁 石日) ▼京町家—スローライフに学ぶ生活術— ▼風の盆幻想 (内田康夫)

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、提案みなさんの周りでの出来事や話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係
(電話：67-2112 ファックス：67-2117)
- Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
- URL／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

公共施設の調理室 もつと設備の充実を

広 報あさひまち五月号の特集で、若妻会の存続が困難になってきているという記事を見て、なんとか若妻の人たちを大事にしていきたいと改めて感じたところです。

さて私は、女性文化教室で料理を習っています。毎月第一水曜日に、旬の野菜を使った郷土料理などを学んでいます。約30人程の受講生がおり、その中にもやはり若妻会に所属している方がいます。赤ちゃんをおんぶしたり、大きなお腹の人など、各自が一生懸命勉強しています。

ところが、公共施設（開発センター）である調理室の設備が、全く整っていません。若い人が新たに加入した際、まず驚かされてしまうのが、お湯の出ないこと。今時、お湯の出ない家などあるでしょうか。また、調理器具も揃っていません。包丁がない。計量カップ、スプーン、その他足りないものばかりです。もつと調理室の設備を充実させて

あさひまちの宝箱 vol.22



堀敬太郎さんの「スライドフィルム」

大谷往来。その昔寺子屋を通じて伝えられた、大谷の地域の様子が記してある文章です。これには、大谷の風景や動植物、神仏や特産品をうまくまとめて掲載されています。堀さんは、この大谷往来に登場するものをスライドフィルムに残しています。大谷往来が寺子屋で大谷に伝えられてきたように、堀さんはスライドフィルムを使い、40代の大人も知らないこの地区の良さを伝えていきます。私は、現代の大谷の寺子屋に入門したように錯覚しました。

(高橋 論 2002)

あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。広報紙の折り込みはがきを利用しご応募ください。あさひまち宝さがし実行委員会

ください。

女 鈴木ケイ子さん(大谷五) 性文化教室が発足して26年目になります。婦人会の学習活動として定着しており、会の活動を支える大きな柱の一つであると認識しています。

今後、婦人会と若妻会のみなさんが、楽しく一緒に活動できる学習活動として、より充実していただきたいと期待しています。そのためにも、できる限りの支援をしていきたいと考えています。

また、開発センター調理室の調理器具不足の件についてですが、閉校した学校施設などから取り寄せたり、何種類かの皿なども購入したところですが、まだ不足している部分については、今後、利用頻度の多いみなさんと相談しながら対応していきます。給湯設備については、大規模な改修が必要となるため、現段階では事実上困難であり、既存の瞬間湯沸かし器を利用くださるようご理解願います。

教育文化課・総務課

お詫びと追加

平成17年10月5日発行の広報あさひまち10月号で、次の事項が抜けました。お詫びして追加いたします。

16頁 各種大会の成績

- 西村山地区中体連新人戦
「柔道女子団体3位」を追加します。



平成17年(2005年)
■10月1日~10月31日届出



すこやかに

区名	出生児氏名	性別	保護者名
西原	阿部 桃 ^{もも} 花 ^か	女	修一・由紀
元町	渡邊 康 ^{こう}	男	和博・礼子
西町	長岡 優 ^ゆ 亜 ^あ	女	暢一・富子
沼向	神尾 美 ^み 結 ^と	女	裕典・ひとみ
助ノ巻	布施 拍 ^{ぱく} 斗 ^と	男	昭信・摩樹
緑町	近衛 岳 ^{たけ} 音 ^ね	男	智之・こずえ
大谷五	早坂 優 ^{ゆう} 希 ^き	女	健一・真紀



おしあわせに

大井 真
(太郎三)



本木 麻里
(寒河江市)

小嶋 紘太
(真中)



阿部 真季
(元町)

細谷 将克
(宇津野)



萩原 麻紗子
(山形市)



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
能中	海野 ふみ子	義明
西町	鈴木 正	正道
大町	長岡 たけよ	勇雄
小原	阿部 傅四郎	武美
本町	阿部 吉男	秀夫
太郎一	長岡 半六	たまの
水本	高橋 す江	由八
本町	今井 千代壽	良則

人口と世帯数

- 平成17年10月31日現在
- 人口 8,804人(減12人)
- 男 4,364人(減8人)
- 女 4,440人(減4人)
- 世帯数 2,560戸(減2戸)
- ()内 前月比

きょうの健康 あしたの健康

町の結核健診は、毎年19歳以上の住民(事業所の従業者等を除く)に対して胸のレントゲン検査を実施してきました。

しかし、結核の患者さんは高齢者に多く、また、新たに患者さんが見つかる割合が低くなってきたため、今年4月に結核予防法の一部が改正されました。結核健診(胸のレントゲン検査)は65歳以上の高齢者や、結核患者の接触者に対する健診に重点をおき、より効率的な健診となりました。

＝定期結核健診の対象者＝

- 住民…65歳以上 毎年度実施
- 学生…高校、高等専門学校、短大、大学、専門学校、各種学校の学生 入学年度のみ実施
- 事業所の従事者…学校、病院、診療所、助産所、老健施設、社会福祉施設の従事者 毎年度実施
- 施設の入所者…刑務所 20歳以上毎年度実施
社会福祉施設(老人ホーム、障害者施設等) 65歳以上毎年度実施

結核の患者数は徐々に少なくなってきてはいますが、全国で毎年3万人以上の患者さんが見つかっており、中には亡くなる方もいます。2週間以上続く咳や痰、胸の痛みなどの症状があるときは医療機関を受診し、痰の検査や胸のレントゲン検査を受けましょう。



問い合わせ 健康福祉課健康推進係
☎67-2116

■完全禁煙にご協力を!

十月一日からの役場庁舎及び開発センターの施設内完全禁煙実施に続き、十一月一日から創遊館(中央公民館)、西部公民館、秋葉山交遊館、町民体育館、健康増進センター、北部体育館の施設内でも完全禁煙となりました。

■山形ふるさとCM大賞出品作決まる!

今回で第6回目を迎える山形ふるさとCM大賞。上位入賞を果たすべく、今回から作品を広く応募し、その中から一般投票(十月九日のアップル町民駅伝競走大会時に実施)と最終審査を経て出品作を決定することになっていました。

その結果、合わせて四点(三団体一人)の応募があり、劇団りんご村から(岡崎文彦代表)の作品「忘れられないものがある」を、十一月十五日に開催される本選に出品することが決定しました。

なお、本選の様子は、十二月六日の午後六時三十分からYTS(山形テレビ)の特別番組で放映される予定です。

朝日町フォトコンテスト

この町には「自然」「歴史・文化」「人」など、ふるさとを感じさせる宝物のような風景が数多く残っています。昭和29年11月に合併し昨年50周年を迎えた朝日町。これを記念し「今残したいふるさとの宝」をテーマに募集したもののなかから、選りすぐりの作品を紹介します。

入選「晩秋の湿原」



自然や登山が好きで、山形の自然を残していきたいと思い写真を撮っています。

登山をはじめた10年ほど前に朝日連峰へ登りました。その時は春の湿原を見たのですが、秋も素晴らしいのではないかと、約10年ぶりに烏原山へ登った時に撮った写真です。

もう少し早い時間帯に撮りたかったのですが、秋晴れの中、湿原の色付いた草木と水面に雲も映し出された風景を写真に収めることができました。

最近、朝日連峰や月山の自然を中心に写真を撮っています。

撮影者 結城 勉さん（山形市）

春夏秋冬

編集後記

と知子さんのお二人が、夫婦そろって「ハッピーカムカム八〇二〇達成者表彰」で優良賞を受賞しました。

齋藤茂吉文化賞を受賞なさっている阿部さん。八十歳になっても二十本の自分の歯で食べる事ができるということ。このこともたいへんすばらしいことだと思えます。それも夫婦そろってですからなおさらのことです。食べられることの喜び。食生活の大切さを感じさせられた気がします。

栗ひろう 子ども見かけて

昔なつかし
(はやけん)

▽十一月七日は立冬。暦の上ではもう冬に突入しました。今年の秋は、気温が例年に比べて高かったせいか紅葉も一気に進み、足早に駆け抜けていったそんな感じがします。

和台の佐藤松一さん宅では、今年も家や樹木をかたどったイルミネーションがお目見えし、遠行く人の目を楽しませてくれます。私の自宅の茶の間には、既にこたつの準備が整ったことで、世の男性方にはよくある（はず）一杯の後のさどころ寝が、この日から解禁となりました。

▽十一月八日は「いい歯」の日。このたび、常盤の阿部宗一郎さん

